

結成70周年記念：ロシア音楽の潮流を聴く

ボロディン弦楽四重奏団



Borodin Quartet

Celebrating the quartet's 70th anniversary: The spirit of Russian music

Borodin : String Quartet No.2 in D major Shostakovich : String Quartet No.8 in C minor op.110 Tchaikovsky : String Quartet No.1 in D major op.11
Borodin Quartet 1st. Violin : Ruben Aharonian 2nd. Violin : Sergey Lomovsky Viola : Igor Naidin Cello : Vladimir Balshin

ボロディン：弦楽四重奏曲 第2番 ニ長調
ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲 第8番 ハ短調 op.110
チャイコフスキー：弦楽四重奏曲 第1番 ニ長調 op.11

ボロディン弦楽四重奏団
第1ヴァイオリン：ルーベン・アハロニアン
第2ヴァイオリン：セルゲイ・ロモフスキー
ヴィオラ：イゴール・ナイディン
チェロ：ウラディーミル・バルシン

4/3 19:00 東京文化会館 小ホール
[金] April 3 [Fri.] at 19:00 Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

好評発売中 S¥6,700 A¥5,200 U-25¥1,500(税込) ※U-25のみ2月13日(金)12:00発売【公式HPのみで取扱い】

主催：東京・春・音楽祭実行委員会 後援：ロシア連邦大使館 助成：公益財団法人企業メセナ協議会 2021 芸術・文化による社会創造ファンド

ボロディン弦楽四重奏団～結成70周年記念:ロシア音楽の潮流を聴く

Borodin Quartet~Celebrating the quartet's 70th anniversary: The spirit of Russian music

結成70年を迎え、カルテット史上類をみない長い歴史を有するロシアの超名門カルテット。
 数々の名曲の初演を行い、彼らなしには語れないとまで言わしめたショスタコーヴィチの作品や、チャイコフスキーの美しい旋律。
 ロシア音楽の決定版をお楽しみください。



ボロディン弦楽四重奏団 Borodin Quartet

1945年、ロスティスラフ・ドゥビンスキー(第1ヴァイオリン)、ウラディー・ミル・バルシ(第2ヴァイオリン)、ルドルフ・バルシヤイ(ヴィオラ)、ヴァレンティン・ベルリンスキー(チェロ)というモスクワ音楽院の学生により結成。現在のメンバーは、ルーベン・アハロニアン(第1ヴァイオリン)、セルゲイ・ロモフスキー(第2ヴァイオリン)、イーゴリ・ナイディン(ヴィオラ)、ウラディー・ミル・バルシ(チェロ)。結成以来70年に渡り、メンバー交代を経ながらも、ベートーヴェンやショスタコーヴィチにおける卓越した演奏が多くの賞を集める一方、モーツァルトからストラヴィンスキーに至る幅広い楽曲で名演を披露。カルテットでの活動に加え、スヴァトスラフ・リヒテル、エリーザベト・レオンスカヤ、ユーリ・バジュメット、オレグ・マイセンベルクといった音楽家と共演を重ねてきた。2015年には結成70周年を記念して、モスクワ、東京、モントリオール、ロンドン、ベルリン、ウィーン他、世界各地で演奏会を開く予定。これまでに発表した録音が、グラモフォン賞を受賞する等、高い評価を得ている。

ルーベン・アハロニアン (第1ヴァイオリン) Ruben Aharonian (1st. Violin)

ラトヴィア生まれ。モスクワ音楽院で学び、卒業後レオニード・コガンに師事。チャイコフスキー国際コンクール他で多数の入賞を誇る。1996年ボロディン弦楽四重奏団に参加。指揮活動も行ない、83~96年アルメニア国立室内管弦楽団の首席指揮者・音楽監督。

セルゲイ・ロモフスキー (第2ヴァイオリン) Sergiy Lomovsky (2nd. Violin)

モスクワ生まれ。モスクワ音楽院・同大学院で学ぶ。1992年からユーリ・バジュメットが率いるモスクワ・ソノイズツで活動。2011年ボロディン弦楽四重奏団に参加。三重奏のメンバーとしてアンコーナのリヴィエラ・デル・コネロ国際音楽コンクール第1位。

イーゴール・ナイディン (ヴィオラ) Igor Naidin (Viola)

7歳からモスクワ音楽院でヴァイオリンとヴィオラを学び、1994年に卒業。モスクワ国際ヴァイオリン・コンクール第2位他、多くのコンクールで入賞。85年ルッソ弦楽四重奏団を創設し、ボロディン弦楽四重奏団の指導を長年受ける。96年ボロディン弦楽四重奏団に参加。

ウラディー・ミル・バルシ (チェロ) Vladimir Balshin (Cello)

モスクワ生まれ。モスクワ音楽院卒業。ルッソ弦楽四重奏団のメンバーとしてヴァレンティン・ベルリンスキーらの指導を受ける。1994年パリ国際チェロ・コンクールでムスティスラフ・ロストロポーヴィチ特別賞等。2007年ボロディン弦楽四重奏団に参加。

ボロディン弦楽四重奏団 with エリーザベト・レオンスカヤ (ピアノ) ～リヒテルとともに奏でた音楽家たち

リヒテルがその生涯で何度も取り組んだシューマンとショスタコーヴィチ。
 リヒテルと共に活動を続け、数々の名演を残してきた
 ボロディン弦楽四重奏団とレオンスカヤがリヒテルへの深い想いを捧げる一夜。

4.2 [木] 19:00開演 東京文化会館 小ホール
 S¥7,200 A¥5,700 U-25¥1,500(税込)
 シューベルト:弦楽四重奏曲 第12番 ハ短調 D.703(四重奏断章)
 シューマン:ピアノ五重奏曲 変ホ長調 op.44
 ショスタコーヴィチ:ピアノ五重奏曲 ト短調 op.57



© Julia Wesely

20世紀を代表する巨匠リヒテルの世界が、ここに甦る――

リヒテルに捧ぐ (生誕100年記念)

スヴァトスラフ・リヒテル (1915-1997) の生誕100年にあたる2015年に、東京春祭が贈る特別なシリーズ。
 リヒテルが再演を切望していたブランクの《オーバード》の上演、盟友レオンスカヤと巨匠の秘蔵子メルニコフ、それぞれのリサイタルに加え、トークイベントやドキュメンタリー・フィルム上映会等も開催いたします。
 詳しくは音楽祭公式ホームページ「リヒテルに捧ぐ」特集ページをご覧ください。

東京・春・音楽祭

-東京のオペラの森2015-
 3.13 Fri.-4.12 Sun.

春が訪れ
 桜がはらいて
 音楽が始まる
 上野の森に

東京の春の訪れを、音楽を媒介としたお祭りでお祝い――
 明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野公園を舞台に、桜の美しい時期に1ヵ月にわたり開催する音楽祭です。東京文化会館での「ワーグナー・シリーズ」や、国内外の一流アーティストによる公演をはじめ、美術館・博物館を会場とした「ミュージアム・コンサート」、無料の小さなコンサート「桜の街の音楽会」など、約130公演を開催いたします。桜が咲きほころぶ春のひととき、上野のあらゆる場所から、色とりどりの音楽が聴こえてくる――そんな「東京・春・音楽祭-東京のオペラの森2015-」が東京-上野の春を美しく彩ります。

東京・春・音楽祭チケットサービス

WEBでのお申込みは

<http://www.tokyo-harusai.com/>

公式ホームページだからこそ、嬉しいサービスたくさん!

お電話でのお申込みは

03-3322-9966

オペレーター対応 [営業時間 10:00-18:00 土日祝:休]



その他プレイガイド

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (オペレーター)
 チケットぴあ <http://t.pia.jp/harusai/>
 0570-02-9999 (音声自動応答) ☎597-881
 ローソン・チケット <http://l-tike.com/harusai/>
 0570-084-003 (音声自動応答) ☎34312
 e+(イープラス) <http://eplus.jp/harusai/>



公演に関するお問合せ 東京・春・音楽祭実行委員会 03-5205-6497

※公式HP内オンライン・チケットサービス限定で、上記サービスをご利用いただけます。サービスの対象となる公演や席種は限定されており、詳細は公式HP「チケット」ページにてご確認ください。※車椅子席、団体でのご鑑賞等、詳しくは音楽祭実行委員会までお問合せください。※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※掲載の情報は2015年1月7日現在のものです。やむを得ぬ事情により、内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更による払戻しはいたしませんので、あらかじめご了承ください。